

ヒマラヤスギの松ぼっくり

(球果)



ヒマラヤスギの松ぼっくり (球果)

上向きに枝の上に付く松ぼっくり

ヒマラヤスギ (マツ科) (ヒマラヤシーダ)

ヒマラヤ原産の常緑針葉樹で、名前に「スギ」と付いていますが、マツのグループ(マツ科)に分類されます。日本には明治初期に導入され、庭園や公園、街路などに植栽されています。また、世界三大造園木(*)の一つとも言われています。成長すると、20~30mの高さの美しい円錐形の樹形になります。しかし、根は比較的浅く張り、大きくなると台風など強風で倒れ易いようです。

松ぼっくり(球果)は、縦10cm、横幅8cm程度の大きさで、葉の間から上向きに枝に付きます。

(*)世界三大造園木: ①アロウカリア(ナンヨウスギの仲間)、
②コウヤマキ、③ヒマラヤスギの3種類



公園の西側(市役所側)や花時計の後方に植わっています

***来園者のみなさまへ ・ゴミや犬のフンはお持ち帰りください。 ・犬は必ずリードにつないで下さい。**

指定管理者 (財)尼崎緑化協会